

平成30年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>農林水産業の未来を創る</p> <p>マーケットインに基づき、担い手の育成・経営支援に取り組むとともに、農林水産物の需要を開拓し、京都ならではの農林水産業を未来につなげます</p> <p>また、これまでの施策の成果・課題や情勢変化も踏まえ、京都の強みを生かした新たな「農林水産ビジョン」を検討します</p>	<p>【高収益で足腰の強い農業経営を育成します】</p> <p>米政策の転換を踏まえた「緊急対策」等でソフト・ハード両面から農業者を支援するほか、生産基盤の整備を促進し、ニーズの高いブランド京野菜など高収益作物への転換を図ります。また、6次産業化・農商工連携による新ビジネスや新商品の開発などを進め、高収益で足腰の強い農業経営を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生産性を高める共同機械導入や施設のアセットマネジメント、野菜等の生産拡大に向けたパイプハウスの整備等を支援します 50件（⑩新規、⑨46件） ■ 食ビジネスのマッチングや新商品開発、企業と産地の連携等を支援します 400件（⑨326件） <p>【農林水産業を牽引する担い手を支え育みます】</p> <p>「京都農人材育成センター」による段階に応じた経営研修、「京の農業応援隊」による伴走支援、農林漁業のクロスオーバー（交流促進）、学生や若者への農業の魅力発信や移住施策との連携により、新たな担い手の確保・定着を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新規就業者数（年間）を確保します 【農業】200人（⑨127人）、【林業】30人（⑨19人）、【漁業】55人（⑨51人） ■ 「京の農業応援隊」により新技術導入・販路開拓等に取り組む農業経営体を伴走支援します 28,000回（⑨27,366回） ■ 安定的・継続的な農業法人を育成します 380法人（⑨359法人） <p>【農林水産物の需要を拡大します】</p> <p>宇治茶の新たな飲み方の提案・発信やシンガポール等新たな輸出国の開拓に取り組むなど、府内・首都圏・世界へのブランド展開を強化し、農林水産物の需要を拡大します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 京のブランド産品の出荷額を増やします 20億円（⑨18.6億円） ■ 宇治茶、京野菜、「Kyoto Beef 雅」など農林水産物等の輸出額を増やします 9億円（⑨7.4億円）

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>農山漁村の暮らしを守る</p> <p>人口減少と高齢化が加速する農山漁村を守るため、市町村と連携しつつ、移住促進による地域の担い手確保とともに、持続可能な地域コミュニティを構築し、地域の賑わいを創出します</p>	<p>【「移住したい京都・日本一」を目指します】</p> <p>住まい確保・仕事づくりをパッケージで支援する「京都移住促進プロジェクト」を推進し、移住者を核として「半農半X」のための機械整備を支援するなど、地域の将来の担い手の確保・定着を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 都市住民の農山漁村等への移住を促進します 850人（²⁹552人） ■ 空家改修、企業寮、市町村住宅などニーズに応じた住まいを確保します 250戸（²⁹224戸） ■ 農家レストラン等の開業支援により移住者の仕事をつくります 20件（²⁹17件） <p>【持続可能な農山漁村コミュニティを構築します】</p> <p>弱まりつつある地域活動を維持・強化するため、里の仕事人や里の公共員の下支えのもと、外部人材の活用を含めて担い手を確保し、地域資源を活用した「なりわい」づくりからビジネス発展までトータルマネジメントを行う農山漁村コミュニティ（農村型CMO）を府内各地に創出します。</p> <p>また、豊かな自然とふれあえる農山漁村の強みを生かし、3つの京都DMOとも連携を強化しながら農家民宿の取組などにより都市との交流を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 農村型CMOの設立に取り組む地域をはじめ、里の仕事人や公共員の下支えで農村コミュニティを守る地域を支援します 70地区（³⁰新規、²⁹65地区） ■ 農村地域の活動を支援する地域外ファンを増やします 400人（³⁰新規） ■ 農家民宿や農山漁村教育体験旅行などの都市農村交流を促進します 農家民宿等宿泊者数 10,000人（³⁰新規、²⁹9,489人）

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>府民の安心を支える</p> <p>農山漁村における防災・減災対策や野生鳥獣対策を強化するとともに、持続可能で安心・安全な森林づくりを推進します</p> <p>また、「第5次食の安心・安全行動計画」を策定し、安心・安全な農林水産物の生産・流通・消費を支え誰もが安心して暮らせる京都を創造します</p>	<p>【農山漁村における防災・減災対策を進めます】</p> <p>用排水施設の保安全管理など農山漁村における防災・減災対策を進めるとともに、鳥獣被害に対する対策を総合的に進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 農林水産施設の機能保全等防災・減災対策を進めます 85地区（²⁹78地区） ■ ため池安心・安全マップを作成します 45箇所（²⁹25箇所） ■ 野生鳥獣による農産物被害額を減少させます 2.5億円（²⁹2.6億円） <p>【持続可能で安心・安全な森林づくりを加速します】</p> <p>国の森林環境税の31年度譲与開始に伴い、「京都府豊かな森を育てる府民税」の理念を踏まえ、森林の多面的機能の維持及び増進を図り、持続可能な森林づくりと防災・減災対策の強化を両輪で進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 府内の素材生産量を増加させます 18.4万m³（²⁸17.3万m³） ■ 府内完結型木材加工体制を目指し、府内産材シェアを拡大します 32%（³⁰新規、²⁹26%） ■ 府民税等を活用した防災・減災対策を進めます 80箇所（³⁰新規、²⁹72箇所） <p>【安心・安全な食生活を支えます】</p> <p>国内外の消費者や実需者の信頼に應えるため、国際水準GAPの認証取得を推進するとともに、食品表示等の制度改正、食品のリスクに関する正確な情報提供や考える機会を提供するなど、府民の安心・安全な食生活に貢献します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ グローバルGAPなど国際水準の生産工程管理の認証を目指す農家・農場を支援します 取得10件（²⁹4件） ■ リスクコミュニケーションを実施し、食品に関する安心・安全を府民と共に考えます 29回・1,100人（²⁹23回・863人） <p>高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、農場におけるウイルス侵入防止臨場点検を定期的に実施します 350件（²⁹309件）</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。